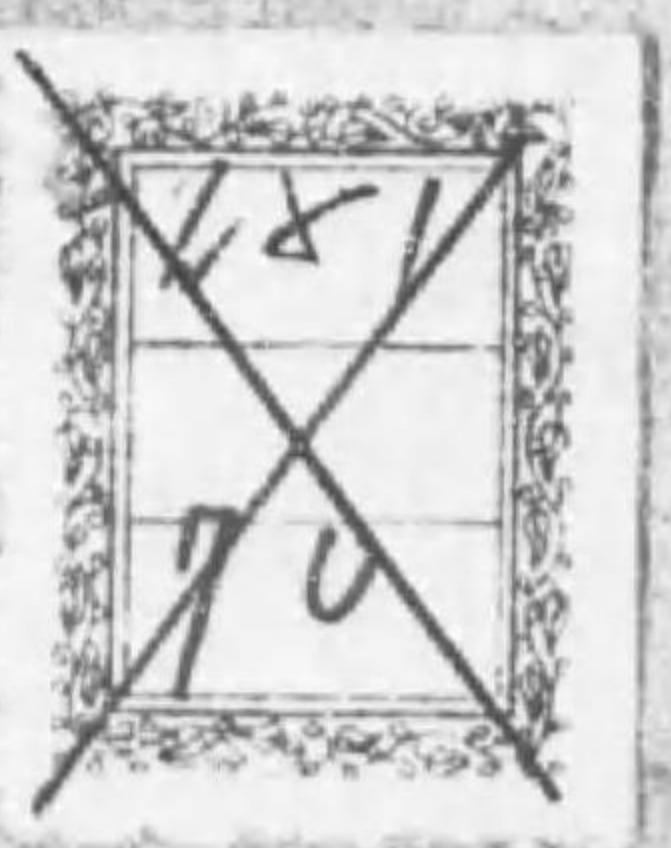


媛縣內務部農商課編

産業組合關係法規



始



特刊
102

產業組合關係法規

目次

- 產業組合法
- 市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理ニ關スル件
- 產業組合法施行規則
- 產業組合法施行細則
- 產業組合及產業組合聯合會事務取扱心得
- 產業組合登記取扱手續沿革
- 農業倉庫業法
- 農業倉庫業法施行規則
- 農業倉庫獎勵規則
- 農業倉庫業法施行細則



一四九
一四五
一四〇
一三四
一二八
一〇九
一五九
一四八
一四五

農業倉庫業收支計算書及事業報告書様式之件
農業倉庫補助規程

一五四
一七一

附 録

信用購買販賣生産組合定款
農業倉庫業務規程
産業組合登記ニ關スル届書式

一七五
二〇一
二一五

産業組合關係法規

一、産業組合ニ關スル法規

産業組合法

明治三十三年三月六日法律第三十四號
(同年勅令第三百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

改正

明治三十九年四月十八日法律第四十五號
明治四十二年四月八日法律第二十七號
大正六年七月二十日法律第二十二號

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達
ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシ
ムルコト(信用組合)

産業組合ニ關スル法規

二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)

三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(生産組合)

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ

必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及

準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完

産業組合ニ關スル法規

四
濟スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用フヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得税及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 組織

三ノ二 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

産業組合ニ關スル法規

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

由

信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内

ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立

ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ

登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ

記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコト

ヲ妨ケス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期

間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第四十五條(第一項略ス)

産業組合ニ關スル法規

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス
法人ノ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス
同第四十八條 法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス
同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

(民法第四十六條第一項ニハ設立ノ時登記ヲ爲スヘキ事項ヲ規定セリ)

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ
前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ
第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

産業組合ニ關スル法規

- 一 出資ノ總口數
 - 二 拂込ミタル出資ノ總額
 - 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
 - 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ前條第一項第一號及第二號ニ掲ケタル事項並組合員ノ氏名及住所ニ付テハ變更ノ生シタル事業年度ノ終ヨリ二週間内ニ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滯ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

第二章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ

依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ譲受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ之テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコト

産業組合ニ關スル法規

ヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
- 二 各組合員ノ出資口數
- 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
- 四 出資各口ノ取得ノ年月日
- 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通

常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

民法第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

同第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

産業組合ニ關スル法規

同第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ヌ又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

同第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

同第六十條 社團法人ノ理事ハ少クとも毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス同第六十一條第一項 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼スルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

民法第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第六十二條 總會ノ招集ハ少クとも五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款

産業組合ニ關スル法規

ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

同第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ

付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

同第六十五條第一項 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

同第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ

表決權ヲ有セス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代
ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テ
ハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セ
ス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其

ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内
ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル
債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコト
ヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異
議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ
擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減
少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩

産業組合ニ關スル法規

餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨済スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲スヘシ
前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

- 一 組合員タル資格ノ喪失
- 二 死亡
- 三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲ス

ヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續

産業組合ニ關スル法規

ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
 - 二 總會ノ決議
 - 三 組合ノ合併
 - 四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ
 - 五 組合ノ破産
- 第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ

合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

民法第七十條 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理

事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス
前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

産業組合ニ關スル法規

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

民法第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

同第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

同第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

同第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申立ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス
産業組合ニ關スル法規

同第八十條 前條ノ期間後ニ申出タル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

同第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)
- 二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工ヒスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

四 所屬組合カ其ノ組合員ニ利用セシムル設備ヲ所屬組合ニ供給スルコト(生産組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行又ハ農工銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スルコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社団法人トス

産業組合ニ關スル法規

産業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任ノ二種トス
保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其
ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入
シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ
外道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産
業組合聯合會ヲ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務
ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ

所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アル
トキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ
於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産
業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七十九條第二項ノ規定ニ依ル
合併ニ付テハ登記スヘキ事項ノ届出、組合原簿ノ提出及送付並登
記ノ囑託ニ關スル規定中地方長官トアルハ合併後存続スル産業組
合聯合會又ハ合併ニ因リテ設立シタル産業組合聯合會ノ主タル事
務所所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、
發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得
産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 名稱
- 二 事務所
- 三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
- 五 資産ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定
- 八 事務ノ執行ニ關スル規定
- 九 定款ノ變更ニ關スル規定
- 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項

三 資産ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス第十六條ノ二ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中地方長官トアルハ主務大臣トス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條乃至第七條、第十條、第十五條、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條並民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業

組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中並第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルト

キ

二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

四 第一條第五項、第四十二條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

七 民法七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠

リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ

九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ

十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若
ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任
期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルト
キ

十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

民法第七十條ハ第六十九條、民法第七十九條及第八十一條ハ第七十五條ノ參照ニ出
ツ

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前
條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所

又ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テ

ハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及

産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務
所

二 登記ノ目的及事由

三 年月日

四 登記所ノ表示

産業組合ニ關スル法規

第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 削除

第一百一條 削除

第一百二條 削除

第一百三條 削除

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラ

ス

第一百五條 非訟事件手續法第三百二十八條、第三百三十八條ノ二、第百

四十一條乃至第四百四十六條、第四百四十八條、第四百四十八條ノ二、

第五百一十一條乃至第五百一十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百十

八條、第六百六十五條及第七百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合

聯合會及産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第六百六條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テ

ハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於

テハ島司之ヲ行フ

附 則 (大正六年法律第二十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正六年十月二十六日勅令第九十九號ヲ以テ同

年十一月一日ヨリ施行ス)

本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區

域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域

ノ登記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理

二 關スル件

大正六年十月二十六日勅令第二百一號

産業組合ニ關スル法規

第一條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理

ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

- 一 金錢又ハ有價證券ノ供託
- 二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券保管
- 三 信用組合聯合會ヘノ貯金

前項第三號ノ貯金ハ拂戻準備金總額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 國債證券
- 二 地方債證券
- 三 貯蓄債券
- 四 勸業債券
- 五 日本興業銀行ノ債券

六 北海道拓殖銀行ノ債券

七 農工債券

第三條 第一條ノ有價證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ毎六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滯ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ

第五條 拂戻準備金ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス

前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額並證券ヲ引出スモノニ在リテハ

産業組合ニ關スル法規

證券ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日
農商務省令第三十五號
改正大正六年十月二十七日農商務省令第三十號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最

小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス
豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘

産業組合ニ關スル法規

額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ

前項ノ届書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ四 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏、名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ産業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

産業組合ニ關スル法規

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滯ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動

二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額

三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還

三ノ二 準備金及各種ノ積立金

四 總會又ハ總代會ノ決議

五 事業ノ狀況

六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種類別ノ數量及價格購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種類別ノ數量及價格、生産組合ニ在リテハ生産シタルモノノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ工程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ在リテハ利用ノ工程ヲ表示スヘキ事項
六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

産業組合ニ關スル法規

六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ貯金ノ種類毎ニ職業別及金額別ノ口數、金額、組合員外ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

七 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ

第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表、産業組合法第四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト並同法第四十一條ノ規定ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス
持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項ノ場合ニ在リテハ理由書及總組員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總

會ノ決議録、財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存続スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脫退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算結了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大

臣ニ報告スヘシ

第二十條 本則中農商務大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農商務大臣及大藏大臣ノ所轄ニ係ルモノニ付テハ農商務大臣及大藏大臣トス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法施行細則

明治四十四年十一月廿八日愛媛縣令第六十七號
改正大正七年十月一日愛媛縣令第五十八號

第一條 組合又ハ聯合會設立許可申請書ト共ニ差出ス定款ニハ産業組合法第九條ニ依リ設立者之ニ署名捺印スルノ外其ノ住所及職業ヲ記載スヘシ

産業組合ニ關スル法規

第一條ノ二 産業組合法第二十五條第二項但書並第八十條第二項ニ依ル理事及監事ハ其ノ氏名及住所ヲ記載スヘシ(改正)

第二條 組合又ハ聯合會設立許可申請及合併認可申請ノ際差出ス定款ハ美濃形紙ニ認ムルコトヲ要ス

第三條 組合又ハ聯合會設立許可申請ノ際左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其理由ヲ附記スヘシ(三號以下追加)

- 一、出資一口ノ金額カ組合ニ在リテハ五拾圓聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルトキ
- 二、組合又ハ聯合會ノ事業年度カ曆年ニ依ラサルトキ
- 三、組合員ノ脱退豫告期間ヲ六ヶ月以上ニ延長スルトキ
- 四、信用組合ノ區域カ市町村ノ區域ニ依ラサルトキ
- 五、産業組合聯合會ノ區域カ府縣ノ區域ニ依ラサルトキ
- 六、組合員若ハ所屬組合並所屬聯合會ノ有スヘキ出資口數カ三十

口ヲ超ユルトキ

七、無限責任組合及保証責任組合ニ在リテ脱退者ノ責任期間カ二ケ年ヲ超ユルトキ

八、前號ニ依リ延長シタル責任期間ヲ短縮スルトキ

九、持分ニ對スル配當カ年六分ヲ超ユルトキ

第四條 削除

第五條 組合又ハ聯合會設立ノ許可ヲ得タルトキハ十日以内ニ各組合員又ハ所屬組合並所屬聯合會ニ對シ出資第一回ノ拂込ヲ催告スヘシ(改正)

設立許可後一ヶ月内ニ前項ノ拂込ヲ了セサルトキハ其ノ事由ヲ知事ニ報告スヘシ

第六條 削除

第七條 定款變更認可申請書ニハ産業組合法施行規則第十二條ノ二

産業組合ニ關スル法規

ニ掲ケタル書類ノ外定款ノ抄本ヲ添付スヘシ
變更事項カ産業組合法第九條第一項第一號乃至第五號及第十二號
ニ掲ケタル事項ニ屬スルトキハ前項ニ掲ケタル書類ノ外總會又ハ
總代會ノ決議録壹通又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ同
意アリタルコト、産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項
ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ証スル書
面各二通ヲ添付スヘシ(改正)

第七條ノ二 解散及合併ノ認可申請書ニ添付スヘキ總會ノ決議録ハ
各二通添付スヘシ

合併ノ認可申請書ニ添付スヘキ産業組合法第四十條第二項及第四
十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ証スル書面並合併ニ依リテ
組織變更ト同一ノ結果ヲ生スル場合ニ於テ添付スヘキ總組合員又
ハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ証スル書面各二通ヲ添付ス

ヘシ(改正)

第七條ノ三 出資第一回ノ拂込終了届及産業組合法ニ依リ爲スヘキ
登記並組合原簿ノ記載ノ變更ニ關スル届書及附屬書類ハ正本二通
ヲ作り知事ニ差出スヘシ

總會又ハ總代會ノ決議ニ依リ理事又ハ監事ヲ解任シタル場合ニ於
ケル前項ノ届書ニハ其ノ理由ヲ詳具シタル書面ヲ添付スベシ(改
正)

第八條 組合又ハ聯合會ハ組合原簿及組合員名簿ヲ備フルノ外組合
ノ種別ニ據リ左ノ帳簿ヲ備フヘシ但シ組合事業ノ狀況ニ依リ本條
以外ノ帳簿ヲ備フルコトヲ得(改正)

日 記 帳
元 帳
出 資 臺 帳

産業組合ニ關スル法規

持分臺帳
 金錢出納帳
 損益明細帳
 所有物臺帳
 消耗品受拂帳
 借入金臺帳
 積立金臺帳
 預ケ金臺帳
 貸付金臺帳
 割引手形記入帳
 貯金臺帳
 貯金拂戻準備金臺帳
 販賣品受入帳

販賣品賣却帳
 購買品仕入帳
 購買品賣却帳
 設備臺帳
 利用工帳
 加工帳
 庶務日誌

第九條 組合及聯合會ノ書類ハ凡テ左ノ區別ニ依リ編綴スヘシ(改正)

- 一、定 款
- 一、諸規程及令規
- 一、組合員加入脱退及出資ニ關スル書類
- 一、財産目錄貸借對照表剩餘金處分案事業報告書

産業組合ニ關スル法規

- 一、總會關係書類
- 一、理事會關係書類
- 一、信用程度關係書類
- 一、登記關係書類
- 一、監督官廳關係書類
- 一、各種事業執行ニ關スル書類
- 一、諸受取証
- 一、雜書類

第十條 組合又ハ聯合會ノ理事監事清算人ニ於テ總會又ハ總代會ヲ開カムトスルトキハ開會ノ日時場所及會議ノ目的ヲ具シ少クトモ開期十日前ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ但シ臨時總會ニシテ急施ヲ要スル場合ハ本文ノ期日ニ依ラサルコトヲ得

第十一條 總會カ産業組合法第二十三條ニ依ル組合員ノ請求ニ係ル

トキハ前條届書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第十二條 削除

第十三條 組合又ハ聯合會カ一ヶ月以上事業ヲ休止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第十四條 産業組合法施行規則第十二條第三項ニ依ル報告ハ總會ノ決議ヲ經タルトキヨリ十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 産業組合法第三十條第一項ノ書類ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成シ總會ノ承認ヲ經タルトキヨリ十日以内ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十五條ノ二 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合カ貯金拂戻準備金ノ管理ノ手續ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ知事ニ届出ツヘシ(改正)

第十六條 組合又ハ聯合會ニ於テ訴訟ノ當事者トナリタルトキ及訴

産業組合ニ關スル法規

認ノ判決アリタルトキハ其ノ狀況ヲ具シ十日以内ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第十七條 削除

第十八條 削除

第十九條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ十日以内ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第二十條 清算人產業組合法第七十一條及第七十三條ニ依リ財産目錄貸借對照表又ハ決算報告書ノ承認ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十一條 產業組合法第六十九條又ハ第七十五條ニ依リ理事又ハ清算人ヨリ破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事又ハ清算人ハ其ノ理由ヲ具シ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十二條 削除

第二十三條 削除

第一 產業組合

甲 財産目錄様式(信用販賣購買生産組合ノ例)

大正 年度末 財産目錄

何々責任何々

組合

資 産

種 目	摘 要	金 額
拂込未済出資金	口 數	円
貸 付 金	件 數	
販 賣 品	種類及數量	

產業組合ニ關スル法規

購買品買掛金	件數及人員
何々未拂利息	件數及人員
何聯合會未拂出資金	口數
何々	
合計	

差引金何

程

資産高 (負債高)

右之通候也

大正 年 月 日

(事業年度末日)

何郡何町村大字何々

何々責任何々

組合長 理事

以下理事全員記名調印ノコト

番地

組合

何

某印

乙 貸借對照表樣式 (信用販賣購買生産組合ノ例)

大正 年度末 貸借對照表

何々責任何々

組合

貸		借	
種目	金額	種目	金額
拂込未濟出資金		出資金	
貸付金		貯金	
販賣品		組合員外ノ貯金	
購買品		豫約者ノ貯金	
設備物		販賣品買掛金	
預ケ金		購買品買掛金	

産業組合ニ關スル法規

職業別	年度別		前年度末現在 員組合 口出資 數資	本年度增加 員組合 口出資 數資	本年度減少 員組合 口出資 數資	本年度末現在 員組合 口出資 數資
	農 業	工 業				
商業						
水産業						
林業						
雑業						
計						

(注意)

- 一、豫約者ヨリ加入シタル者ノ數及職業別ノ數ヲ關外ニ附記スヘシ
- 二、轉職ノ爲人員口數ニ増減チ生シタル場合ト雖其ノ増減ヲ當該欄ニ記入シ且ツ其ノ

旨ヲ關外ニ附記スヘシ

- 三、持分讓渡ニ依リ人員口數ニ増減チ生シタル場合ト雖モ其ノ増減ヲ當該欄ニ記入シ且ツ其ノ旨ヲ關外ニ附記スヘシ

二、出資拂込

年度	區別	各自拂込	剩餘金ヨリ拂込	合	計
前年度末現在高			円		円
本年度拂込高					
本年度拂戻高					
本年度末現在高					

(注意)

- 一、「剩餘金ヨリ拂込」欄ノ本年度拂込高ハ前年度剩餘金處分ニ依リ配當金ニ特別配當金ヨリ出資拂込ニ充テタルモノヲ記載スヘシ
 - 二、本年度拂戻高ノ記載ハ實際拂戻ヲ爲シタル年度ニ屬スル分ヲ記載スヘシ
- 産業組合ニ關スル法規

三、損益計算

利		損	
種目	金額	種目	金額
貸付金利息		貯金利息	
預々金利息		借入金利息	
購買品賣掛金利息		諸給料	
販賣品賣掛金利息		旅費	
販賣品前渡金利息		通信費	
購買利益		印刷費	
販賣利益		消耗品費	
販賣歩合金		雜費	
	円		円
益額		損失額	

利		損	
種目	金額	種目	金額
加工作料		建物時價差損	
土地收入		設備物時價差損	
國債證券利息		什器時價差損	
何聯合會增加持分		何々	
寄附金		何々	
雜收入			
何々			
何々			
合計		合計	

差引剩餘金
 (注意)
 産業組合ニ關スル法規

一、販賣品代前渡金利息並販賣歩合金ノ收入ハ委託販賣事業ヲ執ル販賣組合ニ限り生
スル種目ニシテ販賣利益ハ買取販賣ヲ爲ス販賣組合ノ收入種目ナリ
二、利用料、加工料ハ生産組合ノ收入種目ニシテ購買品、販賣品ノ加工料ハ購買利益
若ハ販賣利益中ニ包含スヘシ

四、借入金及其ノ償還

種目	前年度末	本年度末	本年償還	本年度末現在
	現在	現在		
定期償還借入金				
年賦償還借入金				
當座預ケ金借越金				
合計				

附記

右借入金ノ利率左ノ如シ

最高年利

最低年利

普通年利

(注意)

普通利率ハ借入金(前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ借入日數ヲ乗シタル積
ノ合計ヲ以テ利息ノ合計ヲ除シ之ニ壹ケ年ノ日數ヲ乗シタルモノヲ記載スヘシ、但シ
計算ヲ困難トスル場合ニ在リテハ主ナル借入金ニ對スル利率ニ依ルモ差支ナシ其ノ場
合ニ於テハ其ノ旨ヲ欄外ニ附記スヘシ

五、準備金並其ノ他積立金

種目	前年度末	本年度末	本年分	本年度末現在
	現在	現在		
準備金				
特別積立金				
何積立金				

産業組合ニ關スル法規

計									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(注意)

- 一、本年度積立高ノ欄ニハ前年度剩餘金處分ニ依リ積立タルモノ及本年度中ニ加入金又ハ過意金等組ミ入レタルモノ竝持分拂戻ノ殘額ヨリ振替増加トナリタルモノヲ記載スヘシ
- 二、本年度處分高ノ欄ニハ前年度ノ損失金ヲ填補シタル額及脱退者ニ對スル拂戻額若ハ持分拂戻ノ振替減少トナリタル額竝設備費又ハ臨時ノ支出ニ處分シタル額ヲ記載スヘシ
- 三、積立高若ハ處分高ニ付テハ其ノ内譯ヲ欄外ニ附記スヘシ

六、預ケ金

種目	前年度		本年度		本年度末	
	現在	高度	入	出	現在	高度
定期預ケ金						
當座預ケ金						
計						

何々									
計									

附記

右預ケ金ノ利率ハ左ノ如シ

最高年利 最低年利 普通年利

(注意)

普通利率ハ第四表ノ算出方法ニ準スヘシ

七、總會又ハ總代會ノ決議

總會又ハ總代會ノ種類、開會ノ日時並場所、總組合員數、出席組合員數、決議ノ要領等ヲ記載スヘシ

(記載例)

一、大正何年何月何日何時組合事務所ニ於テ通常總會(又ハ總代會)

産業組合ニ關スル法規

ヲ開設ス、出席組合員何名（内委任出席者何名）ニシテ總組合員何名ニ對シ半數以上（定款規定ノ定數）ノ出席アリタルニ依リ組合長何某議長トナリ大正何年度財産目錄、貸借對照表、事務報告書、剩餘金處分案、並監事ノ意見書ヲ附議シ何レモ其ノ承認ヲ得且ツ大正何年度ニ於テ借入ルコトヲ得ヘキ最高金額ヲ金何程トナスノ件及一組合員ニ對シ貸付シ得ヘキ最高金額（信用組合）ヲ金何程トナスノ件並定款何條改正ノ件ヲ決議ス次ニ理事、監事、信用評定委員任期滿了（又ハ關員）ニ付選舉ヲ行ヒタル處左ノ通常選セリ

理事 何 某（又ハ監事、信用評定委員）
以下列記

二、臨事總會又ハ總代會ノ記載ハ前項記載例ニ準スヘシ
（注意）

一本事業報告書ノ承認ヲ爲スヘキ總會又ハ總代會ニ於ケル事項ハ翌年度ノ事業報告書中ニ記載スヘシ

八、事業ノ狀況

貸付金、貯金取扱ノ繁閑、資金需要ノ狀況（信用組合）産業用品、生計用品等購買物品需要供給ノ狀況（購買組合）販賣品ノ種類、販路ノ狀況（販賣組合）加工ノ工程、利用ノ繁閑（生産組合）其ノ他運轉資金ノ潤否、事業ノ効果等ニ付記載スヘシ

九、貸付金及其ノ償還

區別	種目	前年度末		本年度		本年度		本年度末	
		現在	高	現在	高	現在	高	現在	高
定期貸付金	金額	円	件	円	件	円	件	円	件
		金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數
年賦貸付金	金額	円	件	円	件	円	件	円	件
		金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數

産業組合ニ關スル法規

- 一、一組合員ニシテ數口ノ貯金ヲ爲セル者アルトキハ員數欄ニ於テハ之ヲ一人ト算スヘシ
- 二、一組合員ニシテ數種ノ貯金ヲ爲セル者アルトキハ員數欄ノ計ニ於テハ之ヲ一人ト計上スヘシ
- 三、受入並拂戻ノ員數欄ニハ預ケ足シ若ハ部分拂戻ノ員數ヲモ算入スヘシ、而テ其ノ員數ヲ種目別ニ欄外ニ附記スヘシ
- 四、脱退者ニシテ未タ拂戻ヲ爲サ、ルモノヲ包含セル場合ニハ其ノ人員及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

一一、組合員外ノ貯金（産業組合法第一條第三項ニ依ル貯金ヲ取扱フ組合）

區別	前年度末		本年度末		本年度末	
	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數
組合員ト同一ノ家ニ在ル者	円		円		円	
區別	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數
	円		円		円	
	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數
	円		円		円	
	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數
	円		円		円	

其ノ他	計

附記（其ノ他）ノ欄ニ記載セル貯金者ノ名稱左ノ如シ
 何々市町村、何々農會、何々青年會等

（注意）

- 一、「其ノ他」ノ欄ニハ公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ一括シテ記入シ附記ニ於テハ其ノ團體名ヲ記載スヘシ
- 二、員數又ハ團體數ノ計算方法ハ第十表ノ注意ニ準スヘシ
- 三、本表ハ定款ノ定ムル處ニ依リ産業組合法第一條第三項ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ノ外作成ヲ要セス

一二、貸付及貯金利率

貸付金	貯金
最高年利	最高年利
	組合第一條第三項ニ依ル貯金
	最高年利

産業組合ニ關スル法規

最低年利	最低年利	最低年利
普通年利	普通年利	普通年利

(注意)

一、普通利率ハ貸付若ハ貯金(何レモ前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ貸付日數若ハ預リ日數ヲ乘シタル積ノ合計ヲ以テ貸付金利息若ハ貯金利息ノ合計ヲ除シ之ニ壹ケ年ノ日數ヲ乘シタルモノヲ記載スヘシ但シ計算ヲ困難トスル組合ニ在テハ件數ノ最モ多キモノ、利率ニ依ルモ差支ナシ其ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ欄外ニ附記スヘシ

一三、豫約者ノ數及其ノ貯金

前年度末	本年度末	本年度末	本年度末	本年度末	本年度末	本年度末	本年度末
現在高度	受本年入高度	拂本年戻高度	現在高度	現在高度	現在高度	現在高度	現在高度
金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額
員數	員數	員數	員數	員數	員數	員數	員數

(注意)

本年度拂戻高ハ豫約解除ノ爲拂戻シタルモノト、組合員トナリ出資拂込ニ充ツル爲拂戻シタルモノトヲ區別シ其ノ金額並員數ヲ欄外ニ附記スヘシ

一四、受入又ハ販賣シタル物ノ數量價額(販賣組合)
イ 委託販賣之部

種目	前年度末		本年度		本年度末	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
計						
何々						
何々						
何々						

(注意)

一、數量ノ欄ニハ各種目毎ニ數量ノ單位稱呼(俵、石、貫、斤等ノ別)ヲ必ス傍記ス産業組合ニ關スル法規

ロ 買取販賣之部

種目	前年度末		本年度末		本年		本年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
計								
何々								
何々								
何々								

(注意)

- 一、數量ノ欄ニハ各種目毎ニ數量ノ單位稱呼(俵、石、貫、斤等)等ヲ必ス傍記スヘシ
- 二、本年度末現在高ノ「價額」ハ時價ヲ以テ示スヘシ
- 三、加工ヲ爲シタル場合ニ於テハ生産組合加工ノ様式ニ準シ相當附記スヘシ但シ加工

一五、購買又ハ賣却シタハ物ノ數量及價額(購買組合)

料ノ記載ヲ要セス

種目	前年度末		本年度末		本年		本年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
過磷酸								
智利硝石								
硫酸アンモニア								
石灰窒素								
配合肥料								
大豆粕								
棉實粕								

産業組合ニ關スル法規

(ロ) 設備ノ利用

計	何々	何々	設備	利用ノ程度	利用料	備考
			種目數量			
1						

(注意)

一、右ノ様式ニ依リ難キモノアラハ利用ノ功程ノ概要ヲ示スヘキ様便宜記載スヘシ

一七、處務ノ要件

官廳ヘノ申請、報告、届出、官廳ノ検査、命令、其ノ他重要ナル事項ヲ列記スヘシ
右之通候也

大正 年 月 日 (事業年度末日)

何郡何町村大字何々何番地

何責任何々

組合

組合長 理事

何

某印

以下理事全員記名調印ノコト

一 産業組合法第一條第三項及第四項ノ事業ヲ營ム信用組合(市又ハ主務大臣ノ指定シタル市街地信用組合)ノ財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ハ前記各表ノ様式ニ準スルノ外左記様式ニ依リ作成スヘシ但シ其ノ場合ハ第十一表及第十二表中「組合法第壹條第三項ニ依ル貯金」欄ヲ要セス

一、手形割引及其ノ決済

區別	前年度末		本年度末		本年度末	
	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數
金	額	枚數	額	枚數	額	枚數
	割本	引年	決本	濟年	現本	在年
金	額	枚數	額	枚數	額	枚數
金	額	枚數	額	枚數	額	枚數

産業組合ニ關スル法規

六、拂戻準備金

區別	額面		高		金額	備考
	金額	枚數	金額	枚數		
金銭供託又ハ郵便貯金						
聯合會貯金						
國債						
證券						
勸業債券						
供託又ハ保管						
何々						

合計						
----	--	--	--	--	--	--

(注意)

- 一、金額欄ニハ證券ノ時價ノ合計ヲ記載スヘシ
- 二、證券ノ單價其ノ他參考トナルヘキ事項ハ備考欄ニ記載スヘシ

丁 剩餘金處分案様式(信用販賣購買生産組合ノ例)

大正 年度剩餘金處分案

一金何程 本年度總益金

一金何程 本年度總損金

差引 本年度剩餘金

一金何程 此處分 (剩餘金ノ何分ノ何程) 準備金

産業組合ニ關スル法規 一〇七

一金何程 (持分又ハ出資拂込金) 配當金

内金何程 出資ノ拂込ニ充ツ

一金何程 (販賣高、購買高、加工料) 特別配當金

内金何程 出資ノ拂込ニ充ツ

一金何程 特別積立金

一金何程 何々

右之通候也

大正 年 月 日 (事業年度末日)

何那何町村大字何々

番地

組合長 理事 何 某印

以下理事全員記名調印ノコト

第二 産業組合聯合會

産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ハ産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ニ之ヲ準用ス但シ「丙」事業報告書様式第一號中「組合員ノ職業別」トアルヲ「組合又ハ聯合會ノ種類」「組合員數」トアルヲ「組合又ハ聯合會ノ數」ト改ム

産業組合及産業組合聯合會事務取扱心得

大正七年十月一日愛媛縣訓令第三十三號

第一條 組合又ハ聯合會設立許可ノ申請アリタルトキハ別記第一號ノ事項ヲ調査副申スヘシ

第二條 組合及聯合會ニ關スル左記ノ場合ニハ詳細意見ヲ副申スヘシ

一、合併、解散、定款變更認可申請ノトキ

一、解散ノ届出アリタルトキ

一、出資一口ノ金額カ組合ニ在リテハ金五拾圓ヲ、聯合會ニ在リ

産業組合ニ關スル法規

テハ金五百圓ヲ超過スルトキ

一、組合員又ハ所屬組合、所屬聯合會ノ有スヘキ出資口數カ三十口ヲ超過スルトキ

一、信用組合ノ區域カ一市町村以上ニ跨ルトキ

一、聯合會ノ區域カ他府縣ニ跨ルトキ

一、無限責任組合及保証責任組合ニ在リテハ脱退者ノ責任期間カ二ケ年ヲ超ユルトキ

一、前號ニ依リ延長シタル責任期間ヲ短縮スルトキ

一、事業年度カ曆年ニ依ラサルトキ

一、持分ニ對スル配當カ年六分ヲ超過スルトキ

第三條 組合及聯合會ニハ毎年一回以上臨檢シ事業及財産ノ狀況ヲ檢査スヘシ

前項檢査ノ狀況ハ別記第二號様式ニ從ヒ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

第四條 組合及聯合會ノ監督又ハ獎勵ニ關シ規程ヲ設ケタルトキハ直ニ之ヲ報告スヘシ

第五條 郡市役所ニ於テ産業組合事務取扱主任ヲ定メタルトキハ直ニ其ノ職氏名ヲ報告スヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第六條 組合又ハ聯合會ニシテ成績佳良ナルモノ又ハ事業經營上困難ニ陥リタルモノ在リト認ムルトキハ別記第三號ノ事項ヲ報告スヘシ

第七條 郡市役所ニハ別記第四號様式ニ從ヒ組合及聯合會臺帳ヲ備付クヘシ

第八條 産業組合法第六十一條ニ依リ處分ノ必要アリト認ムル場合ハ其ノ事實理由ヲ詳具シ直ニ之ヲ報告スヘシ

第一號

甲、組合設立ニ關スル調査

産業組合ニ關スル法規

- 一、組合區域内ノ職業別戸數及人口
- 二、組合員タルヘキ者ノ見込員數(職業別)
- 三、信用組合ニ在リテハ金融ノ狀況、販賣組合ニ在リテハ販賣ノ狀況、購買組合ニ在リテハ購買ノ狀況生産組合ニ在リテハ生産ノ狀況
- 四、理事及監事タルヘキ者ノ地位並性行及信用
- 五、事務擔當者タルヘキ者ノ適否並其ノ經歷
 - 乙、聯合會設立ニ關スル調査
 - 一、各聯合會設立ニ關スル事項
 - (イ) 聯合會設立ノ必要ニ關スル事情
 - (ロ) 事業實行ノ方法其ノ他事業ニ關スル計劃ノ概要及將來ノ見込並事業上特ニ便宜ヲ得若ハ障碍トナルヘキ事情アレハ其ノ事情

- (ハ) 區域内ニ於テ加入ノ資格アル組合又ハ聯合會及設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會ノ種類別ノ數並加入ノ見込ナキ組合又ハ聯合會アレハ其ノ種類別數及其ノ事情
- (ニ) 設立當時ノ理事、監事タルヘキ者ノ性行及社會上ニ於ケル地位並經歷ノ概要
- (ホ) 事務擔當者タルヘキ者ノ適否並其ノ經歷
- 二、信用組合聯合會ニ關スル特別事項
 - (イ) 設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會カ最近三ケ年間ニ於テ爲シタル毎年度ノ借入金ノ總額並借入ヲ爲シタル組合又ハ聯合會ノ數
 - (ロ) 設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會ノ最近三ケ年間ニ於ケル毎年度末ノ預金總額又ハ有價證券ノ價格並預金又ハ有價證券ヲ有スル組合又ハ聯合會ノ數

産業組合ニ關スル法規

三、販賣組合聯合會ニ關スル特別事項

設立當初ニ於テ加入スヘキ組合カ聯合會ノ販賣スヘキ重ナル物品ニ付最近三ケ年間ニ於テ販賣シタル物品ノ毎年度ニ於ケル種目別ノ價額又ハ數量

四、購買組合聯合會ニ關スル特別事項

設立當初ニ於テ加入スヘキ組合カ聯合會ノ取扱フヘキ重ナル物品ニ付最近三ケ年間ニ於テ購買シタル物品ノ毎年度ニ於ケル種目別ノ價額又ハ數量

五、生産組合聯合會ニ關スル特別事項

設立當初ニ於テ加入スヘキ組合カ聯合會ノ爲スヘキ設備物ニ付最近三ケ年間ニ於テ組合員ニ利用セシメタル毎年度ニ於ケル種目別數量及度數

第二號

- 一、検査狀況報告書ハ組合毎ニ作成スヘシ
- 一、本報告書ニハ貸借對照表ヲ添付スヘシ

大正年月日検査 検査員

郡	村	組合	設立許可年月日	出資第一回拂込年月日	存立時期	区域	目的	大字(又ハ部落)別					
								全	戸	數	組合員數	備	考

一、区域内組合員分布ノ狀況

大正年月日現在

合	計								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

(注意) 組合員ト組合員外トノ貧富ノ比較、未加入者ニ對スル事情等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

二、職業別組合員數及出資口數

大正 年 月 日現在

職業	組合員數	出資口數	職業	組合員數	出資口數
職業			職業		
農業			林業		
工業			雜業		
商業			計		
水産業			出資一口金		
			圓		
			保証金額		

三、組合員ノ加入脱退及出資拂込ノ狀況
四、預ケ金

大正 年 月 日現在

金額	利率	預ケ	先備	考
合	計			

(注意) 預ケ先ハ總會ノ決議ヲ經タルモノナルヤ預ケ入方法ハ適當ナルヤ等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

五、借入金

大正 年 月 日現在

金額	利率	借入	先備	考
合	計			

(注意) 借入額ハ總會ノ決議ニ反セサルヤ借入金ニ對スル擔保、保証等ノ有無等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

ナキヤ等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

- 二、貸付金利率及地方金利トノ比較
- 三、貸付金ノ主ナル用途
- 四、信用程度ノ査定及活用方法
- 五、貸付金回收ノ狀況
- 六、貯金

大正 年 月 日現在

種類	金額	員數	備考
計			

- (注意) 貯金増減ノ趨勢等ヲ備考欄ニ記載スヘシ
- 七、貯金ノ利率及地方金利トノ比較

八、貯金ノ集收及獎勵ノ方法

- 一、販賣高
- 販賣組合

種目	數量	金額	備考
計			

- (注意) 買收、委託ノ別及手数料、歩合金ノ割合等ヲ備考欄ニ記載スヘシ
- 二、組合區域内ニ於ケル其ノ取扱品ノ一ケ年販賣見込數量
- 三、加工ノ設備及方法、功程
- 四、物品ノ販路及販賣方法

産業組合ニ關スル法規

五、物品ノ受入保管及品等査定ノ方法
六、代金ノ受渡方法

一、賣却高
購買組合

種目	數量	金額	備考
計			

(注意) 賣却人員、需用ノ増減等ヲ備考欄ニ記載スヘシ

二、主ナル取扱品ノ組合区域内ニ於ケル一ケ年間ノ需用見込數量
三、代金受渡ノ方法及賣掛金ノ整理狀況
四、物品ノ仕入先、購入ノ方法

五、加工ノ設備方法及功程
六、物品賣却ノ方法賣殘品ノ狀況

生産組合

一、加工ノ功程

加工後ノ種目	數量	加工前ノ種目	數量	加工料

二、利用ノ功程

利用セシメタル種目	數量	度	利用料

産業組合ニ關スル法規

産業組合登記取扱手續沿革

一一八

明治四十二年八月十六日司法省令第十七號
改正大正二年五月二十二日司法省令第二十二號
改正大正六年十月二十七日司法省令第八號

前略

第八條 組合原簿ハ附録第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯合會原簿ハ附録第五號雛形及第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第九條 組合原簿及聯合會原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用ウヘシ

第十條 組合原簿及聯合會原簿ニハ組合ノ代表者其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

中略

第十二條 産業組合登記又ハ組合原簿ノ記載ノ囑託書ニハ其ノ登記又ハ記載ニ關スル届書ノ外總會若ハ總代會ノ決議又ハ總組合員ノ

同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

後略

附録第一號乃至第四號雛形省略

産業組合ニ關スル法規

附錄第六號
無限責任何々組合ノ稱組合原簿

更 變		更 變		口 出	稱 名
				數ノ額	
更	變	更	變	口 出	稱 名
				數ノ額	
更	變	更	變	口 出	稱 名
				數ノ額	
				口 出	稱 名
				數ノ額	

一三二

附錄第五號
有限責任何々組合ノ稱組合原簿

更 變		更 變		口 出	稱 名
				數ノ額	
更	變	更	變	口 出	稱 名
				數ノ額	
更	變	更	變	口 出	稱 名
				數ノ額	
				口 出	稱 名
				數ノ額	

一三〇

産業組合ニ關スル法規

部 甲

更 變	更 變	出資ノ口數	稱名
更 變	更 變	出資ノ口數	

部 乙

更 變	組合員ノ氏名住所ノ	更 變	組合員ノ氏名住所ノ
更 變	組合員ノ氏名住所ノ	更 變	組合員ノ氏名住所ノ

部 乙

更 變	組合員ノ氏名住所ノ	更 變	組合員ノ氏名住所ノ
更 變	組合員ノ氏名住所ノ	更 變	組合員ノ氏名住所ノ

附錄第七號

保證責任何々組合ノ稱組合原簿

農業倉庫業法

一三四

大正六年七月二十日法律第十五號
同年九月一日ヨリ施行

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物若ハ繭ヲ、又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル穀物ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ他ノ農業倉庫業者カ前二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

コトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

- 一 受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ヲ爲スコト
- 二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
- 四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 五 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

産業組合ニ關スル法規

一三五

第五條 産業組合カ農業倉庫業者タルトキハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得 産業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附随トシテ組合員ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號及第五號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農會又ハ公益法人カ農業倉庫業者タルトキハ第二條第四號及第五號ノ事業ヲ爲スコトヲ得

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項又ハ第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項又ハ第三項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第四項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章及第九章第二節ハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

産業組合ニ關スル法規

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

商法第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ檢査其ノ他ノ行為ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督

上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行為カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行為カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正六年八月十八日勅令第百十號ヲ

産業組合ニ關スル法規

農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日
農商務省令第十五號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規定ノ外左ノ事項ヲ記載

シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有

ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項

- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期

七 附屬ノ設備ニ關スル事項

- 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法

九 起業費及一箇年ノ收支概算

- 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面

十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄

第二條 業務規定ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依ル保管ヲ

産業組合ニ關スル法規

- 爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 他ノ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者

ノ名稱

- 八 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 九 證券發行ニ關スル規定
- 十 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十一 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十二 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十三 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 産業組合ニ於テ組合員ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ

産業組合ニ關スル法規

一 混合保管ノ範圍

二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

第四條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第五條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地又ハ棟數ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第八條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第九條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條及第十七條ノ行政官廳ハ農商務大臣及地方長官トス農業倉庫業法第十六條ノ行政官廳ハ産業組合、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農商務大臣、地方長官及郡長トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ農商務大臣及地方長官トス

附 則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農商務大臣之ヲ行フ

農業倉庫獎勵規則

産業組合ニ關スル法規

大正六年八月十五日
農商務省令第十六號

第一條 農商務大臣ハ農業倉庫獎勵ノ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ニ掲クル道廳府縣ノ補助金ニ對シ道廳府縣ニ之ヲ交付ス

一 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付道廳府縣ノ交付スル補助金

二 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付郡、市町村若ハ之ニ準スヘキモノ、農會又ハ地主會等ノ交付スル補助金ニ對シ道廳府縣ノ交付スル補助金

第三條 補助金ノ額ハ農業倉庫ノ建築、改築若ハ修繕又ハ買入ニ要スル費用ノ二割以内トシ且道廳府縣ノ負擔額ヲ超エサルモノトス

第四條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル道廳府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農商務大臣ニ之ヲ提出スヘシ但前年度ノ補助金交付申請書ニ添附シタルモノト變更ナキ規程ハ之ヲ添附スルヲ要セス

一 補助金豫算書及其ノ説明書
二 補助金交付ニ關スル規程

第五條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ前條ノ補助金豫算書又ハ規程ヲ變更セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ前條但書ノ規定ニ依リ添付セサリシ規程ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ハ當該年度ニ於ケル補助金

ノ決算及交付ノ成績ヲ翌年度六月末日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ
第七條ノ規定ニ依ル義務ノ存スルトキ亦同シ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ補助金豫算書ニ定メタル補助金ノ交付ヲ當該年度内ニ終了シ得サルトキハ年度後ニ於テ之ヲ繼續交付スルノ義務アルモノトス

第八條 道廳府縣第七條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ補助金交付ノ成績不良ナリト認ムルキハ農商務大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得

附 則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中前年度二月末日トアルハ大正六年度ニ限り大正六年十一月末日トス

農業倉庫業法施行細則

大正七年一月十一日愛媛縣令第十二號
改正全年十一月五日令 第六十三號

第一條 農業倉庫ノ認可申請書ニ添付スヘキ書類ハ正副二通ヲ要ス

第二條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程及農業倉庫業法施行規則第一條ニ依ル添付書面ノ外農業倉庫業法第二條第四號第五號ノ事業ヲ爲サ、ル者ニアリテハ其事由並他ノ金融機關トノ聯絡關係農會又ハ公益法人ニアリテハ他ノ金融機關トノ聯絡關係ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第三條 業務規程並倉庫ノ所在地又ハ棟數ノ變更認可申請書ニハ變更理由書ヲ添付スヘシ
業務規程ノ變更認可申請ノ場合ニハ前項ノ外變更事項ノ抄本ヲ添付スヘシ

産業組合ニ關スル法規

第四條 農業倉庫業ヲ經營スル公益法人カ登記ヲナシタルトキハ二週間以内ニ登記シタル事項及其ノ登記年月日ヲ知事ニ届出ツヘシ

第五條 農業倉庫業者ハ別記第一號様式ニ依リ其ノ事務所ヲ表示スヘキ標札ヲ掲クヘシ

第六條 農業倉庫業者ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ事件發生ノ都度之ニ記載スヘシ

- 一 社員名簿
- 二 日記帳
- 三 總勘定元帳
- 四 貸借對照帳 一名殘高試算帳
- 五 所有物臺帳
- 六 諸積立臺帳
- 七 借入金臺帳

- 八 貸付金記入帳
- 九 未收入金明細帳
- 十 助成材料明細帳
- 十一 現金出納帳
- 十二 受寄物保管帳
- 十三 受寄物明細帳
- 十四 證券發行臺帳
- 十五 受寄物調製明細帳
- 十六 受寄物改装荷造明細帳
- 十七 受寄物運送仲立明細帳
- 十八 受寄物販賣仲立明細帳
- 十九 受寄物運送取次明細帳
- 二十 受寄物販賣取次明細帳

産業組合ニ關スル法規

廿一 受寄物取次販賣代金整理帳

廿二 消耗品受拂帳

廿三 經費明細帳

廿四 損益明細帳

廿五 處務日誌

前項第一號ノ帳簿ハ公益法人ニ在ラサレハ備フルコトヲ要セス又公益法人市町村ニ在リテハ第八號帳簿ヲ要セサルモノトス

產業組合ニシテ第一項第二號乃至第六號並ニ第十一號第二十五號帳簿ノ備ヘアル場合ハ別ニ作成ヲ要セス

第七條 前條ノ帳簿ハ其ノ使用ヲ終リタル日ヨリ十ケ年間保存スヘシ

第八條 削除

第九條 農業倉庫業法施行規則第六條及第七條ノ届書ハ正副二通ヲ

要ス但シ產業組合カ農業倉庫業者タル場合ハ第六條ニ依ル届出ハ此限ニアラス

第十條 農業倉庫業者ハ本業ノ爲メニ提出スル願書ノ添付書類認可書届書又ハ其ノ寫ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

第十一條 農業倉庫業者カ訴訟ノ當事者トナリタルトキ及裁判確定シタルトキ又ハ和解ヲナシタルトキハ其ノ事由ヲ具シ速ニ知事ニ届出ツヘシ

第十二條 農業倉庫業者カ解散又ハ廢止ノ決議ヲナシタルトキハ清算人ハ其ノ決議録ニ事由書ヲ添ヘ速ニ知事ニ届出ツヘシ

第十三條 清算結了シタルトキハ清算人ハ速ニ知事ニ届出ツヘシ

第十四條 農業倉庫業者ヨリ差出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ノ郡市役所及町村役場ヲ經由スヘシ

第一號様式

產業組合ニ關スル法規

品目	数量	員數	数量	員數	数量	員數	数量	員數	合計	保管料	備考
支米											
粃											
大麥											
小麥											
裸麥											
大豆											
繭											

(注意) 月次ハ曆年ニ依ル

第四號表 受寄物ノ品目別入庫數量、員數及保管料

品目	数量	員數	数量	員數	数量	員數	数量	員數	合計	保管料	備考
支米											
粃											
大麥											
小麥											
裸麥											
大豆											
繭											

(注意)

産業組合ニ關スル法規

- 一、員數ハ延員數ニ非ス
- 二、法律第一條第一項及第三項ノ規定ニ依ル受寄物ニ付所有權ノ移轉アリタル後保管期間ヲ更新スル場合ニハ法律第一條第四項ニ屬スルモノトシテ本表ニ限り之ヲ計上スヘシ
- 三、備考欄ニハ法律第一條第一項ニ屬スルモノニ付寄託者ノ生産シタル物ト小作料トシテ受ケタル物トノ數量及員數ノ區分ノ大要ヲ記スヘシ

第五號表 受寄物ノ品目別保管期間別出庫數量

品目	保管期間別			
	三箇月以内 寄託ノ物	六箇月以内 寄託ノ物	一箇年以内 寄託ノ物	一箇年ヲ超 エ寄託ノ物
支米				
粃				
大麥				
小麥				
裸麥				

大豆				
、				
、				
、				
、				

(注意)

保管期間ハ年度内ニ出庫シタル受寄物ニ付寄託ノトキヨリ事實保管シタル期間ニ依ルヘシ但シ保管料ヲ徴收シタル月次ニ依ルモ妨ケナシ

第六號表 受寄物ノ品目別調製、改裝及荷造數量並手數料

品目	數量			
	調製	改裝及荷造	數量合計	手數料
支米				
粃				

産業組合ニ關スル法規

品目	大豆	裸麥	小麥	大麥
數量				
手數料				
競賣				
其他				
合計				
手數料				
備考				

(注意) 調製ヲ爲シタル物ニ付テハ調製後ノ品目及數量ニ依ルヘシ

第七號表 受寄物ノ品目別運送及販賣ノ仲立及取次數量並手數料

品目	數量		手數料	競賣	其他	合計	手數料	備考
	運送	取次						
大豆								
裸麥								
小麥								
大麥								
粗米								
支米								

(注意) 備考欄ニハ販賣ノ仲立及取次ニ付法律第一條第一項ノ寄託者ノ寄託ニ屬スル物ト第二條第一項ノ寄託者ニ非サル者ノ寄託ニ屬スル物トノ區分ノ大要ヲ記スヘシ
産業組合ニ關スル法規

品目	大豆	裸麥	小麥	大麥	粗米	支米
數量						
手數料						
競賣						
其他						
合計						
手數料						
備考						

第七號表ノ二 受寄物ノ品目別販賣ノ數量及手數料

一六四

品目	數量手數料		手數料	備考
	販賣	買入		
粟	賣	買	賣	買
大豆	賣	買	賣	買
裸麥	賣	買	賣	買
小麥	賣	買	賣	買
大麥	賣	買	賣	買
粳	賣	買	賣	買
玄米	賣	買	賣	買
合計	賣	買	賣	買

(注意)

産業組合カ農業倉庫業者タル場合ニ於テ其ノ販賣部ノ事業トシテ農業倉庫受寄物ノ販賣ヲ爲スモノニ在リテハ本表ヲ作成スヘシ

第八號表 證券發行ノ件數、證券面寄託物ノ數量及手數料

品目	件數		手數料	備考
	發行	寄託		
玄米	發行	寄託	發行	寄託
麥	發行	寄託	發行	寄託

(注意)

一、備考欄ニハ法律第一條第一項ノ寄託者ト其ノ他ノ者トノ證券利用ノ區分ノ大要及證券流通ノ大要ヲ記スヘシ
産業組合ニ關スル法規

一六五

第十號表 剩餘金處分又ハ損失金填補方法

一金 何 圓 本年度剩餘金(損失金)
 此ノ處分(填補)方法
 金何 圓 何々
 金何 圓 何々
 金何 圓 何々

收支計算書

(大正七年十一月五日內務部長通牒)

縣 郡 町村大字 番地

何責任何々組合(又ハ社團法人何々農會、何市町村農業倉庫)

收入之部		支出之部	
種目	金額	種目	金額
保管料		借入金利息	
證券發 Hands 數料		借庫(借地)料	
調製 Hands 數料		通信運搬費	
改裝 Hands 數料		印刷費	
荷造 Hands 數料		消耗品費	
仲立 Hands 數料		收入印紙代	
取次 Hands 數料		諸給料	
貸金利息		雜費	
何々		所有物時價差損	

産業組合ニ關スル法規

雜	計	何	々
收		計	
入			

差引
金何程
本年度剩餘金

右ノ通候也
年月日

何責任何組合(社團法人何々市町村農會)
組合長理事(市町村農會長、何倉庫長)

何 某 (印)

(注意)
一、經常及臨時ノ二部ニ分ツトキハ本表ニ準シ分記シ合計ヲ附スベシ

農業倉庫補助規程

大正六年十二月四日愛媛縣令第四十七號

第一條 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築改築若ハ修繕又ハ買入レムトスル場合ニ於テハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ其ノ費用ヲ補助ス

第二條 補助ヲ與フヘキ倉庫ハ下家庇渡廊下其ノ他ノ附屬建物ヲ除キ一棟四十坪以上ニシテ縣ニ於テ必要ト認メタルモノニ限ル但シ特別ノ事情アル場合ハ一棟四十坪以下ノ倉庫ニ對シ補助スルコトアルヘシ

第三條 補助金ハ建築改築修繕費ノ精算額若シクハ買入費額ノ四割五分以内トス但シ下家庇渡廊下其他ノ附屬建物ヲ除キ本棟壹坪ニ付貳拾貳圓ヲ以テ最高限度トス
本規程ニ依リ補助ヲ受ケタル倉庫ヲ買入レムトスル者ニ對シテハ
産業組合ニ關スル法規

前項ノ補助ヲ與ヘサルモノトス

第四條 補助ヲ受ケントスル者ハ左記事項ヲ記載セル書類ヲ添付シ
毎年五月三十一日マテニ知事ニ出願スヘシ

一 事業目論見書及一ケ年ノ收支概算書

二 倉庫ノ建築地又ハ所在地名

三 倉庫ノ建築改築若シクハ修繕又ハ買入費豫算書敷地坪數建物
配置圖竝ニ建築改築修繕ノモノニアリテハ其ノ設計書工事仕
様書及圖面、買入レムトスルモノ在アリテハ建築年月日坪數
構造及圖面竝ニ賣主ノ承諾書

四 敷地カ借地ナルトキハ地主ノ承諾書及借地契約書案

五 建築改築若ハ修繕ノモノハ工事ノ着手期日及其ノ竣工豫定期
日買入レムトスルモノニアリテハ其ノ買入レ豫定期日

第五條 補助ノ指令ヲ受ケタルモノニシテ倉庫ヲ建築若クハ改築セ

ントスルモノハ指令後二ヶ月以内ニ工事ニ着手シ十ヶ月以内ニ事
業ヲ開始シ倉庫ヲ買入レムトスルモノハ指令後一ヶ月以内ニ之ヲ
買入レ三ヶ月以内ニ事業ヲ開始シ倉庫ヲ修繕セントスルモノハ指
令後二ヶ月以内ニ工事ニ着手スヘシ但シ特別ノ事由ニ依リ知事ノ
許可ヲ得タル者ハ此ノ限りニアラス

第六條 倉庫ノ建築改築若ハ修繕竣工シタルトキハ工費決算書買入
シヲ了シタルトキハ登記ノ謄本竝ニ賣渡証書ノ寫ヲ添ヘ其ノ検査
ヲ申請スヘシ

第七條 補助金ハ前條ノ検査終了ノ後之ヲ交付ス

第八條 補助ヲ受ケタル倉庫ハ農業倉庫業ノ目的以外ニ使用スルコ
トヲ得ス其ノ使用ヲ休止又ハ廢止セントスルトキハ其ノ事由ヲ具
シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 補助ヲ受ケタル倉庫ハ讓渡又ハ貸付ヲナスコトヲ得ス但シ

産業組合ニ關スル法規

特別ノ事由ニヨリ知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第十條 補助ヲ受ケタルモノニシテ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ補助ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ノ全部若クハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

一 農業倉庫業法第十五條又ハ第十六條ニ依リ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

二 農業倉庫業法第十七條ニヨリ事業ヲ停止セラレ又ハ認可ヲ取消サレタルトキ

三 本規程ニ違反シタルトキ

附 則

第十一條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 第四條ノ出願期日ハ大正六年度ニ限リ十二月二十日マテトス

第十三條 大正六年五月二十九日愛媛縣令第三十四號農業倉庫建築補助規程ハ之ヲ廢止ス

有限責任何々信用購買販賣
生産組合定款

(農業倉庫業兼營)

第一章 總 則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

一、組合員ニ農工業(水産業又ハ商業)並ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ且ツ組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト

一、農工業(水産)及生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト

産業組合ニ關スル法規

- 一、組合員ノ委託ヲ受ケ其生産シタル農産物、工産物（水産物）ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト
- 一、組合員ニ農工業（水産業）ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
- 一、農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫業ヲ營ムコト
- 第二條 本組合ハ有限責任何々信用購買販賣生産組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村大字何何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タルモノハ本組合ノ區域内ニ居住シ且ツ獨立ノ生計ヲ營ムモノニ限ル
- 第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立期間ハ三十箇年トス

第九條 本組員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一、出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二、準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三、特別積立金ニ對シテハ組合ニ預ケ入レタル貯金ノ利子及組合ヨリ購買シ竝ニ組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額組合ニ支拂ヒタル利用料竝ニ手数料ノ額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 四、其他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 五、組合ノ損失ニ對シ未タ填補ヲ爲サ、ル前持分ヲ拂戻ストキハ第七十五條ニ定メタル損失填補ノ順位ニ從ヒ其ノ科目ニ對ス

産業組合ニ關スル法規

ル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

組合ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十八條ニ依リ特別積立金若ハ農業倉庫部積立金ヲ設備費ノ償却ニ充テ又ハ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ使用シタルトキ亦同シ
組合財産出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第十條 産業組合法ニ依リ爲スヘキ本組合ノ公告ハ主タル事務所ヲ管轄スル裁判所カ公告スル新聞紙ノ一種ニ掲載ス

第二章 出資及準備金

第十一條 出資壹口ノ金額ハ拾圓トス

第十二條 出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金壹圓以上トス

第十三條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員

ハ左ノ各號ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲スコトヲ要ス

一、出資各口ニ付毎月末金貳拾錢以上ヲ拂込ムコト

二、出資各口ニ付毎年一月末及ヒ六月末金壹圓以上拂込ムコト

三、第一回拂込後一箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコト

第十四條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十五條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十六條 過怠金及第八十二條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ剩餘ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十七條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額及ヒ組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ剩餘アルトキハ特別積立金ヲ爲スモノトス

農業倉庫業ニ因リテ生シタル剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ
控除シ尙殘餘アルトキハ農業倉庫部積立金トシテ積立ツルモノトス
第十八條 特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費
ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ之ヲ
使用スルコトヲ得

農業倉庫部積立金ハ農業倉庫業ニ因ル損失填補又ハ農業倉庫業ニ
必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス

第十九條 準備金、特別積立金、及農業倉庫部積立金ハ信用組合聯
合會若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券
地方債證券、勸業債券、貯蓄債券、及日本興業銀行ノ債券、北海
道拓殖銀行ノ債券、農工債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコ
トヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 組合ノ機關

第二十條 組合ニ理事五名、監事三名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ理事ノ
一人其ノ事務ヲ代理ス

前項ノ代理者ハ豫メ理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 理事ノ任期ハ五ケ年トシ監事ノ任期ハ參ケ年トス但シ
再選ヲ妨ケス

組合長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄其職務ヲ行フ
モノトス

第二十二條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタル
トキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補

産業組合ニ關スル法規

缺選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發

見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲メ必要ト認メタルトキ

三、總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ記載シ

タル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十四條 總會ノ招集ハ少クモ五日日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ通知

スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スル事ヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但理事及監事ノ選任及解任定款ノ變更、除名、解散、及合併ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第二十六條 總會ノ議長ハ第二十三條第三項第二號ノ場合ヲ除ク外組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル

第二十三條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席組合員ノ互選ニ依リ之ヲ定

産業組合ニ關スル法規

第二十七條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フ事ヲ得ス

第二十八條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事若ハ議長ノ指名シタル出席員貳名之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十條 本組合ニ信用評定委員何名ヲ置キ通常總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一ケ年トス但再選ヲ妨ケス

第三十一條 信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十二條 信用評定委員ハ一月及七月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用評定ヲナシ信用程度表ヲ作成ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管シ役員以外ノ者ハ閲覧ヲ許ササルモノトス

第三十三條 理事ノ内一名ハ有給トシ其他ノ理事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス

理事監事及信用評定委員ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十四條 本組合ニ倉庫長一名技術員何名ヲ置ク

倉庫長ハ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ囑託シ技術員ハ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ任免ス

倉庫長ハ倉庫ノ管理、受寄物ノ保管及販賣ノ任ニ當ル

技術員ハ物品ノ品等數量及包装ノ査定ヲ爲シ調製改装荷造其他技術上ノ業務ニ従事ス

第三十五條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ

任免ス

書記ハ理事、監事、倉庫長ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第三十六條 本組合ノ發行シタル農業倉庫証券ノ所持人ニ對シテハ本組合ノ財産ヲ以テスルノ外理事監事及倉庫長カ個人ノ資格ヲ以テ連帶シテ無限ノ責任ヲ負擔ス

第四章 事業ノ執行

第三十七條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十八條 組合ノ餘裕金ハ信用組合聯合會若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ノ外他ニ之ヲ預ケ入ル、コトヲ得ス

第三十九條 左ニ掲ケタル事項ハ總會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス但急施ヲ要スルトキハ理事會ノ決議ニ依リ之ヲ專行シ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

一、不動産ノ取得讓渡及其他ノ處分

一、訴訟行爲

第四十條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

貸付金及貯金ノ部

第四十一條 組合員カ貸付ヲ請求シタルトキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シ貸付スヘキ其金額ヲ定ムルモノトス

第四十二條 貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルコトヲ要ス

第四十三條 貸付金ノ辨濟期限ハ壹箇年以内ニ於テ之ヲ定ム但特別ノ事由アルモノニ付テハ之ヲ參箇年以内ト爲スコトヲ得

第四十四條 組合員カ貸付金ノ辨濟ヲ怠リタルトキハ遲延利息ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ利息ハ貸付利率ノ壹倍半トス

産業組合ニ關スル法規

第四十五條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアルト認ムルトキハ組合員ニ對シ期限前ト雖モ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條 貯金ハ一回金五錢以上トス

貯金ノ利息ハ毎年六月十二月末日ニ之ヲ元本ニ組込ムモノトス

第四十七條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金ニ在リテハ年壹割貳分以下

二、貯金ニ在リテハ年八分以下

購買ノ部

第四十八條 本組合ニ於テ購買スル物品左ノ如シ

一、産業用品

肥料 種苗 蠶種 農蠶具 病蟲害驅防用劑 製紙原料 漁具

二、生計用品

米麥 食鹽 石油 木炭

前項各號ノ外總會ノ決議ヲ經タル物品

第一項ノ購買品中肥料ハ各種肥料ヲ配合シ米麥ハ精白ス

第四十九條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニアラサレハ組合外ヨリ前條ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ス

第五十條 理事ハ組合員ノ需用ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應シ第四十八條ノ物品ヲ便宜購買スルモノトス

第五十一條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第五十二條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第五十三條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第五十四條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六箇月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得
前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付日歩參錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ付スルモノトス

第五十五條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ保証人ヲ立テシムルコトヲ得

販賣ノ部

第五十六條 本組合ニ於テ販賣スル物品左ノ如シ

- 一、穀物 果物 繭 藁製品
 - 二、綿織物 和紙
 - 三、煮干鰯 生魚 鯉節
- 前項各號ノ外總會ノ決議ヲ經タル物品

第一項販賣品中米麥ハ精白シ繭ハ乾燥ス

第五十七條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第五十八條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生産物ニ付報告ヲ徴シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十九條 理事ハ組合員カ物品ヲ組合ニ差出スヘキ時期ヲ指定スルコトヲ得

第六十條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其數量及品等ヲ査定シ之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等査定ノ方法及標準ハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

理事ハ受取物品中品等不良ナルモノアリタルトキハ之ヲ組合員ニ返付スルコトヲ得

第六十一條 組合員ハ其賣却セントスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時

産業組合ニ關スル法規

期ヲ指定スルコトヲ得ス

第六十二條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタルトキハ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩參錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第六十三條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付五分以内ニ於テ理事ノ定メタル歩合金ヲ徵收ス

第六十四條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ラス毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス
假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第六十五條

物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第六十六條

受取物品中組合ニ於テ第五十六條第三項ノ加工ヲ爲シ又ハ調製、改装、其他ノ勞費ヲ加ヘタル物ニ付テハ加工料若ハ手數料ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス
前項ノ加工料若ハ手數料ノ率ハ勞費並ニ助成材料ノ失費ヲ參酌シ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條

物品受取後ノ危險ハ組合ノ負擔トス
生産ノ部

第六十八條

本組合ニ設クル設備ハ左ノ如シ

一、農具 蠶具 蠶室 精穀裝置 苴織機 繩綯機械 漁具
前項ノ外總會ノ決議ヲ經タル設備

産業組合ニ關スル法規

第六十九條 前條ニ掲ケタル設備利用ニ關スル規程ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

第七十條 組合員設備ヲ利用シタルトキハ利用料ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ利用料ノ率ハ理事會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム設備ノ利用ニ際シ費シタル助成材料ニ付テハ實費ヲ徴收ス

第七十一條 前條ノ利用料ハ利用ヲ終リタル後一箇月以内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

組合員前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ三ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

農業倉庫業ノ部

第七十二條 農業倉庫業ノ經營ハ別ニ定ムル所ノ業務規程ニ依ル前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補

第七十三條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ組合員ノ持分ニ應シ其配當率ハ年六分以下トス

第七十四條 第十七條第一項第七十三條第二項ノ處分ヲ爲シタル剩餘金ハ特別配當金理事監事ノ賞與金及繰越金ト爲スモノトス
特別配當金ハ組合員カ其ノ事業年度内ニ購買シタル物品ノ價額又ハ組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額及組合ニ支拂ヒタル利用料手數料ノ額ニ應シテ之ヲ配當ス

農業倉庫業ニ因リ生シタル剩餘金ヲ第十七條第二項ニ依リ處分ヲ爲シ尙殘餘アルトキハ理事、監事、倉庫長ノ賞與金ト爲スモノトス

第七十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ農業倉庫部